(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 9日

(宛先) 高崎市長

提出者

住 所 東京都江東区新砂1-1-1

氏 名 株式会社竹中工務店

安全環境部 清水 亨

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-6810-5114

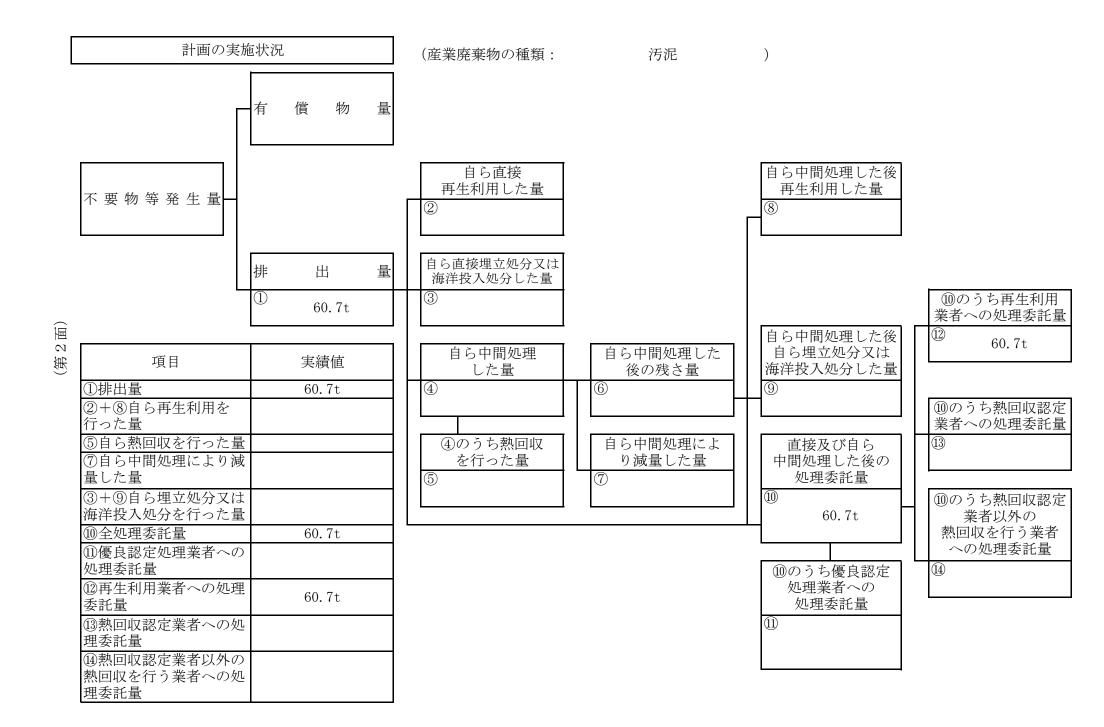
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

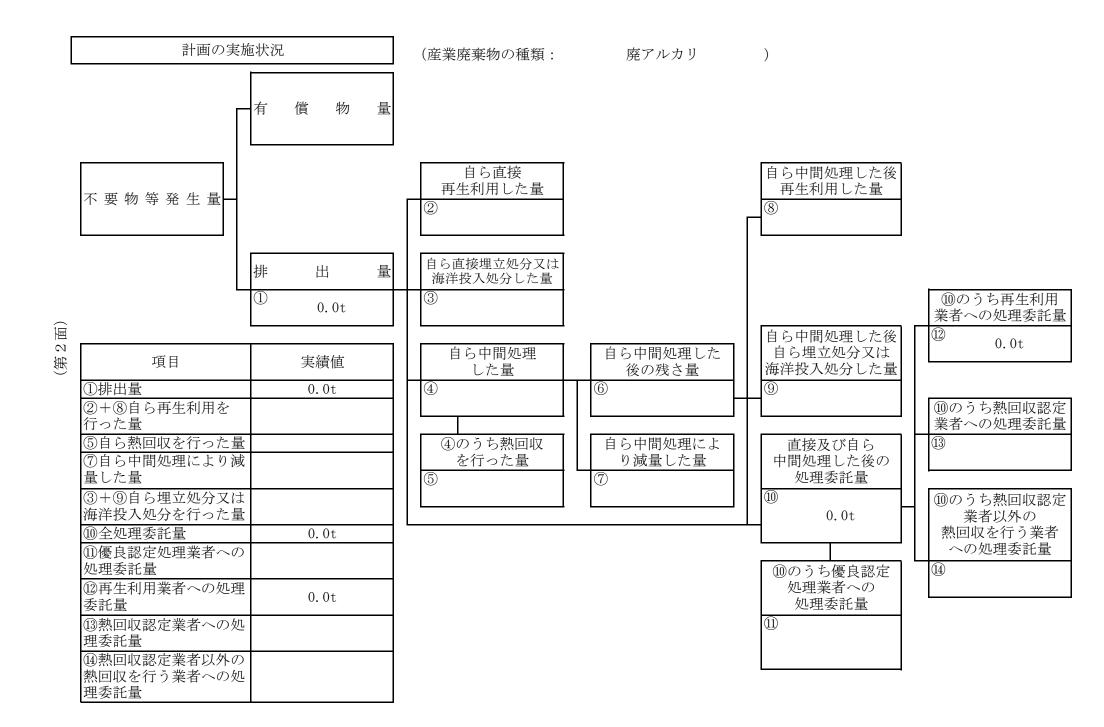
事	業場	T O) 名	称	高崎市内現場 13件	
事	業場	の	所 在	地	高崎市内一円	
事	業	の	の種類		D06 総合工事業	
産業計	業廃棄物 画	 処理計	·画におり 期	ける 間	令和6年4月1日~令和7年3月31日	

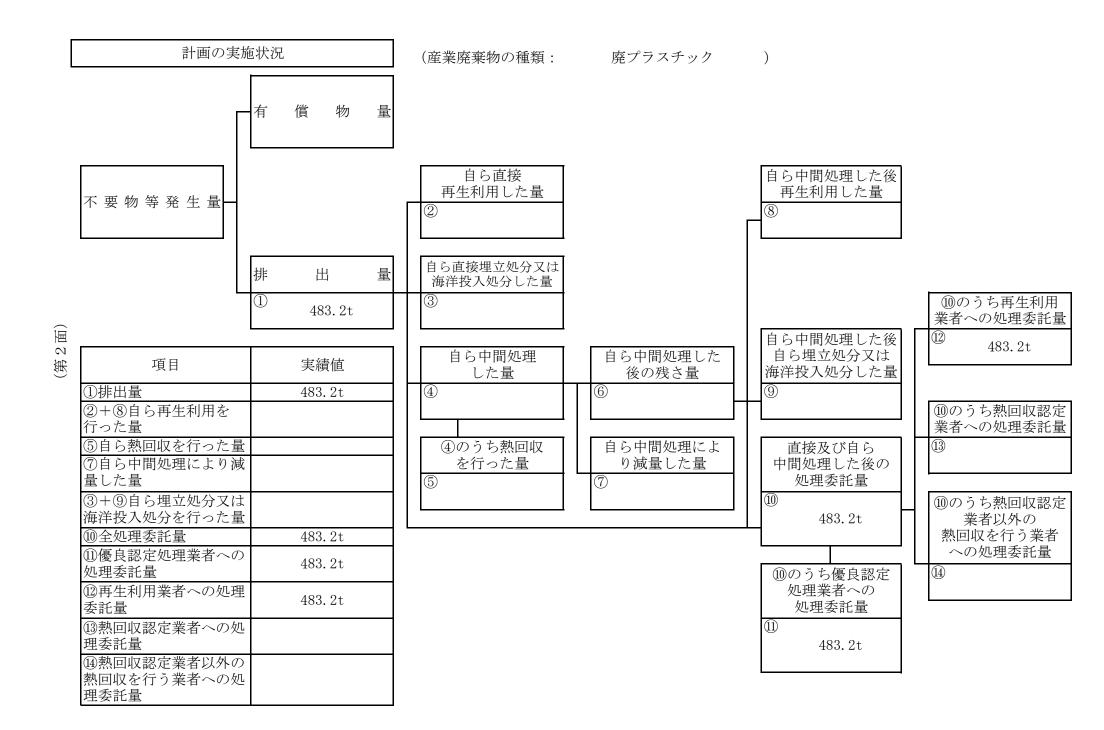
産業廃棄物処理計画における目標値

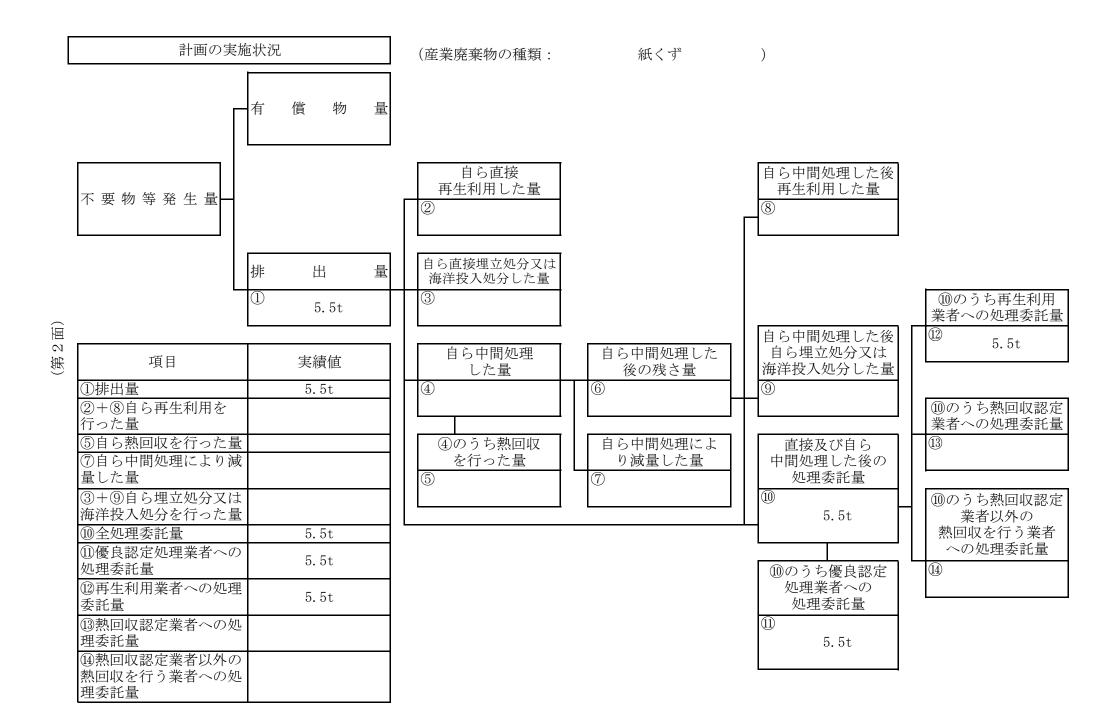
	項目		目標値	項目 目標値
排	出	量	7,370.0 t	全 処 理 委 託 量 7,370.0 t
自ら産業	再生利用を行廃棄物の	う量	t	優良認定処理業者への 処理 委 託 量 2,266.0 t
自ら産業	熱 回 収 を 行 廃 棄 物 の	う 量	t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量 7,343.0 t
自ら中産 業	間処理により減量す 廃棄物の	トる 量	t	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量
自 海 達 業	埋 立 処 分 又 投 入 処 分 を 行 廃 棄 物 の	は う 量	t	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 17.0 t 処 理 委 託 量
※事務処理	 里欄	·		

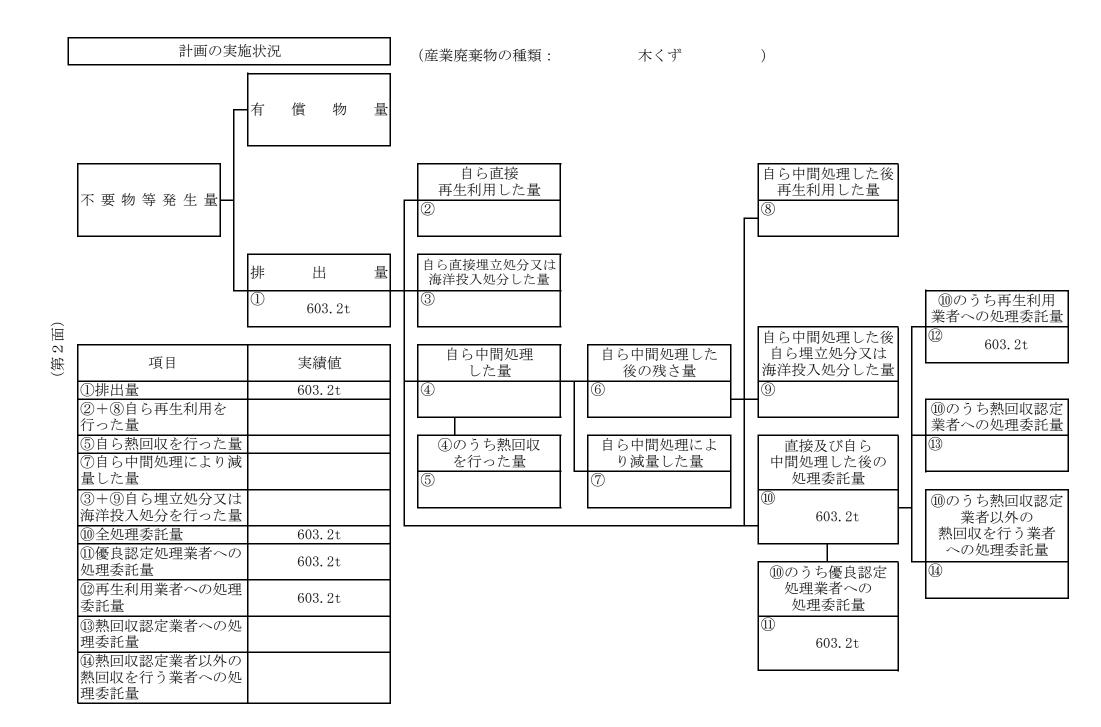
(日本産業規格 A列4番)

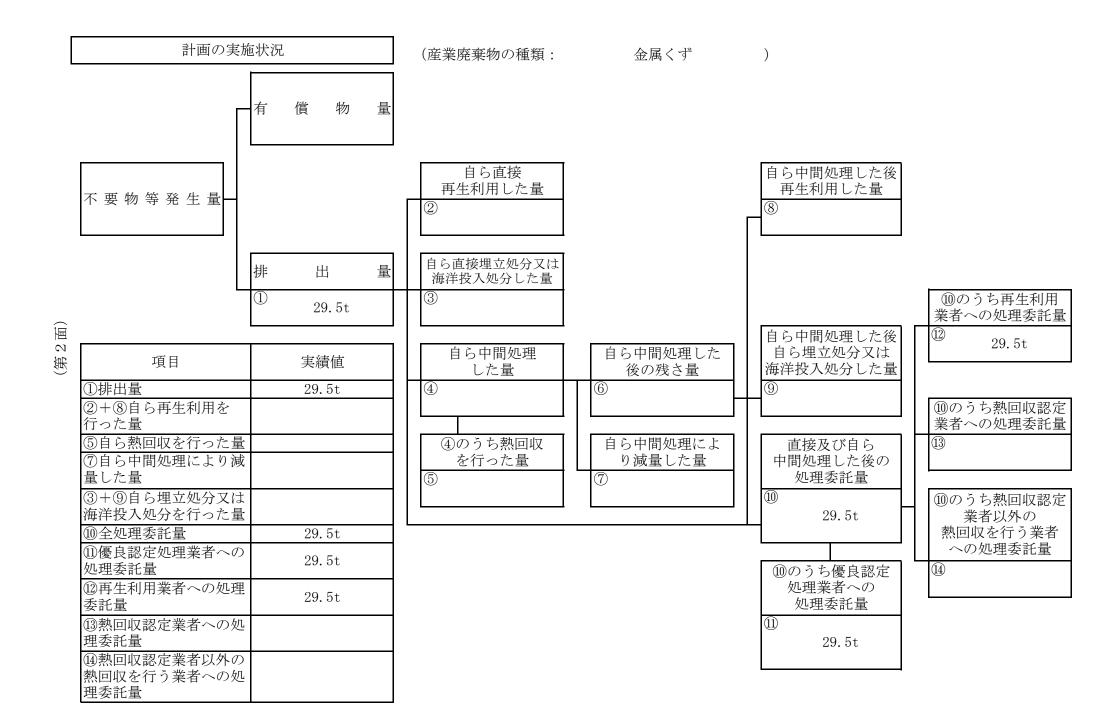


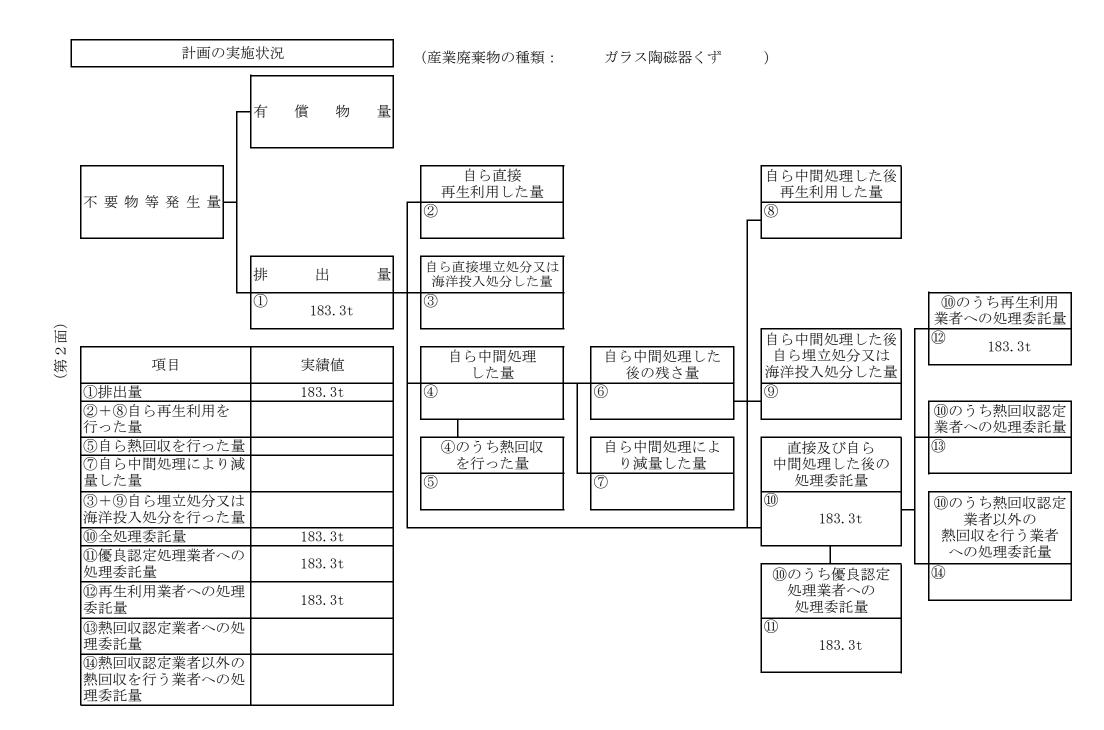


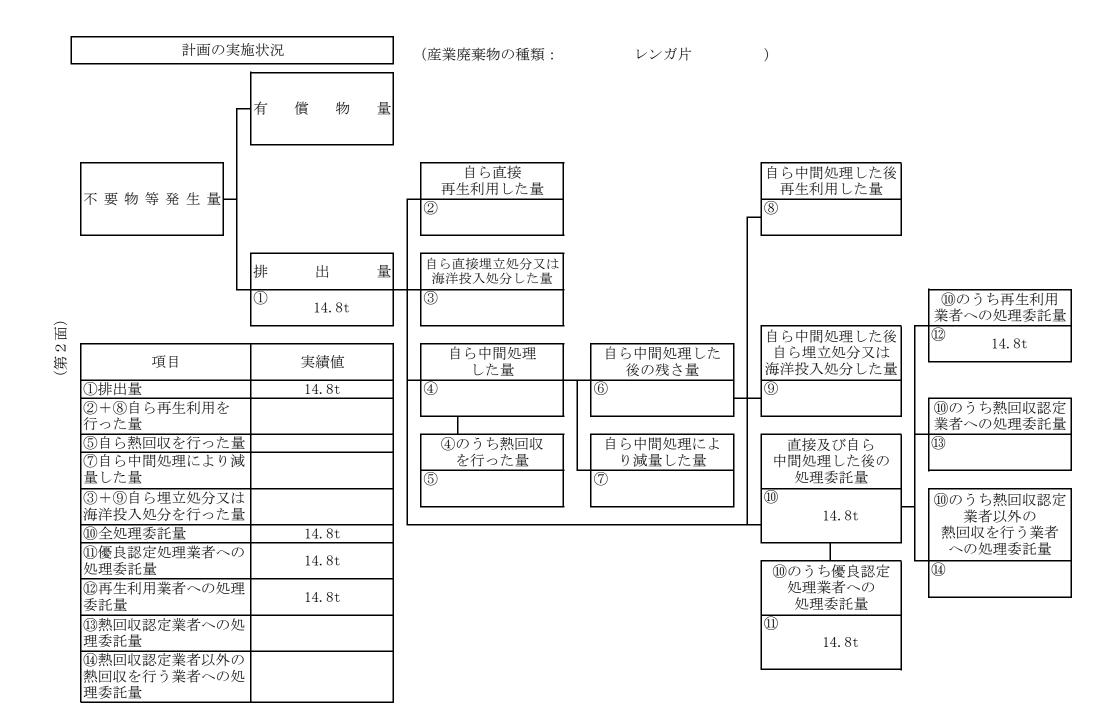


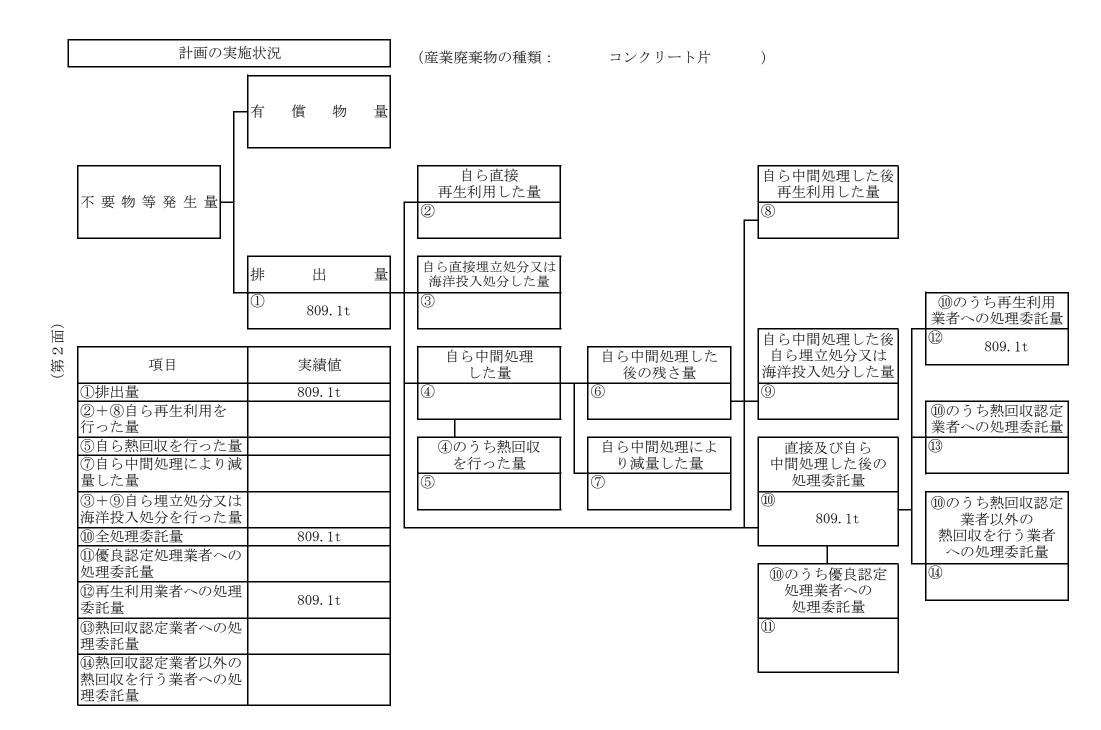


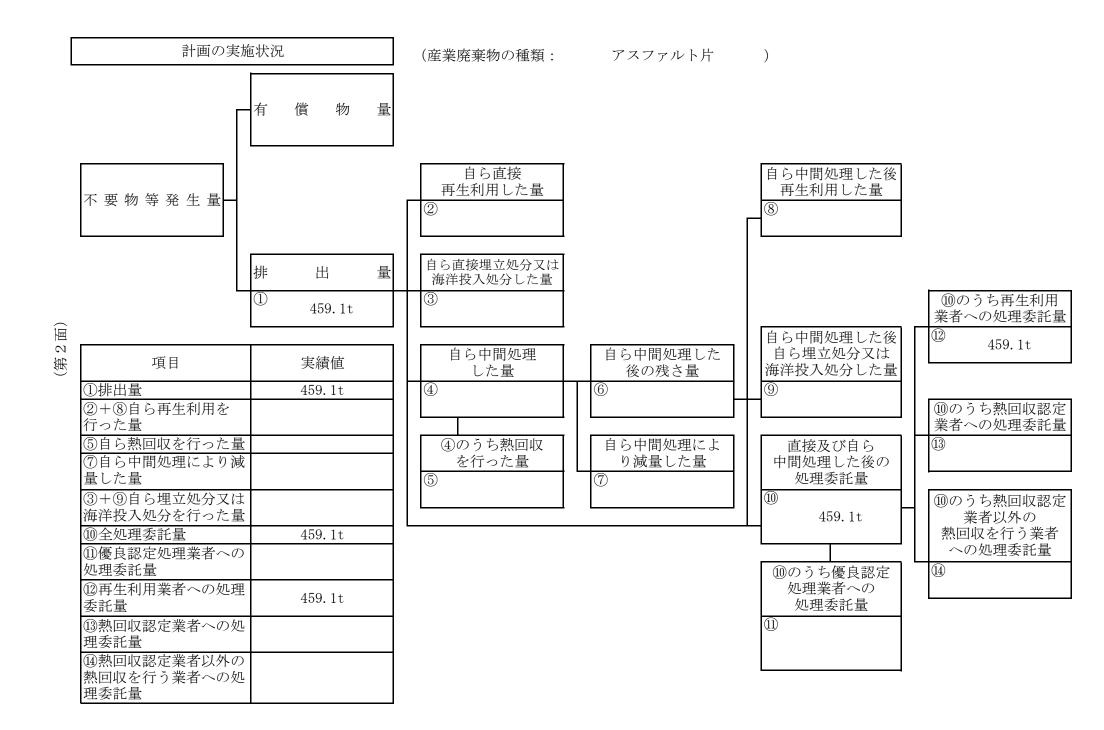


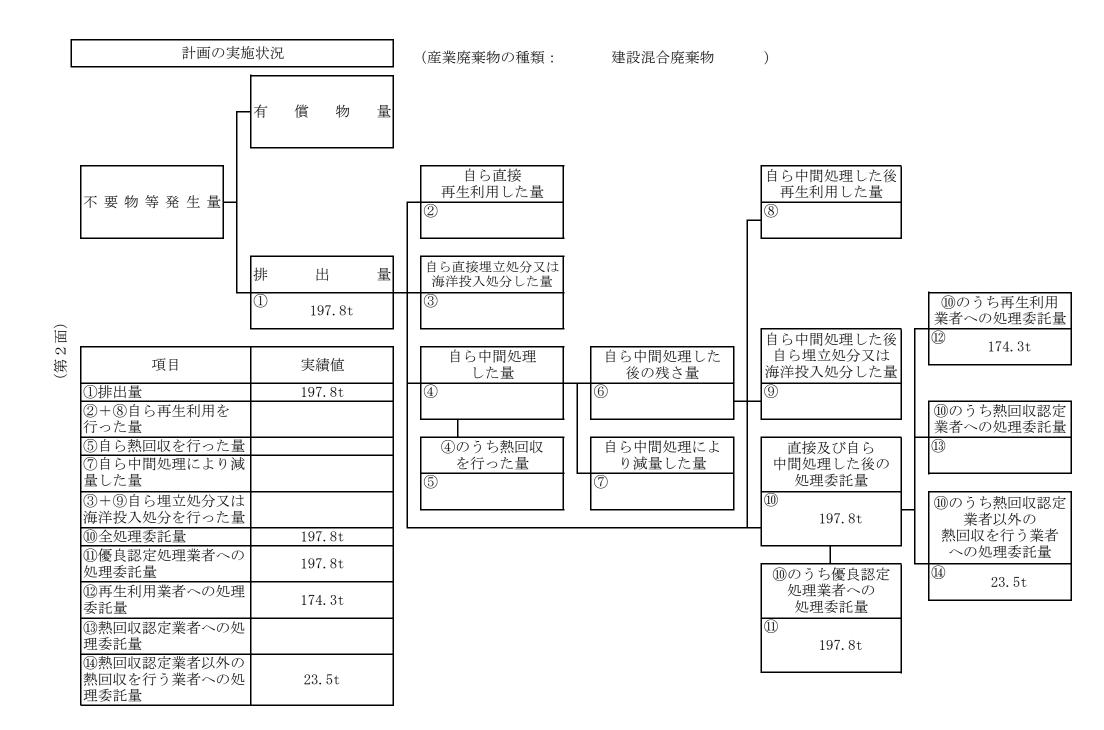


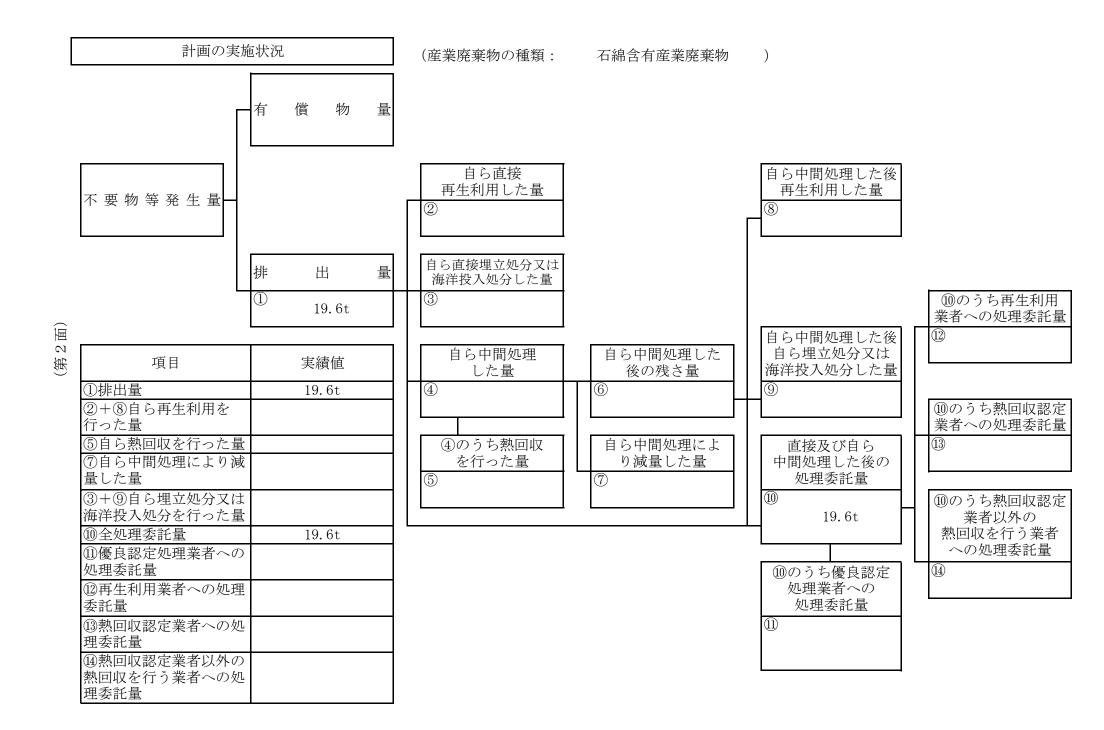












備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載 にした目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14) に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ④欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を 記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃 棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。